

【転居された方は事務局(svcf-admin@svcf.jp)まで転居先をお知らせください】

福島復興支援事業参加の報告

渡辺正彦(仙台市在住)

2020年8月27日から30日の福島での作業へ参加したので、報告する。

参加者は安藤、山田、渡辺の3人。27日から29日に川内村高島田ヴィンヤードでブドウ畑の手入れ。雨除きのシート張りと天候不順で生育不良の房切除(3列分全部)、除草など。今年の収穫は少なくなるが山梨に醸造委託の予定だそうである。工場用地の造成も終わり、ワイナリーらしい姿を現すのも間近なようである。

30日は大熊町の帰還困難区域でKさん宅の除草作業。作業後、渡辺は帰仙。安藤、山田の2名は炎天下作業後の直帰を避けいわき市「湯の岳山荘」泊。

放射線被ばく量は、川内村では室内及び畑の空間線量が手持ち線量計及び現地モニタ等で



ぶどうに取りつく病害虫防止の草取り。機械を入れられないため手作業で0.08 μ Sv/hだったので無視して差し支えないであろう。帰還困難区域での滞在は約5時間、空間線量は約2 μ Sv/hで、貸与された3人の線量計は10-12 μ Svであった。周辺の通過地域では毎時1 μ Sv/h程度のところもあった。

どちらの地域でも話題の一つは新型コロナウイルスで、特に感染者の出ていない川内村ではピリピリしている人とあまり気にしていない人とが極端で、行動隊としても気を遣うところであった。最後に印象に残ったことは、現地の方々の親切であった。今後、行動隊の事業がどんな形になっていくにせよ、地元意思の通じる人のネットワークは極めて貴重なものとなるであろう。



造成工事を終えた川内村ワイナリーの工場用地

9月院内集会

- 日時:9月24日(木曜日)11:00-13:00(10:30から参議院議員会館玄関ロビーで入館証を配布)
- 会場:参議院議員会館102号室
- テーマ:東京電力福島第一原子力発電所廃炉事業の現況
- 報告者:・東京電力ホールディングス(株)立地地域部原子力センター課長 今井賢樹氏、同企画室課長 岩崎悠氏、原子力損害賠償・廃炉等支援機構廃炉総括グループ審議役 伊藤隆庸氏

出来るだけ多くの方にご参加いただきたいのですが、東京都心に出かけて「集まる」ことを避ける方もおありでしょう。オンライン集会和並行して行います。集会前日夕刻までに「招待状」をお送りします。奮ってご参加下さい。

残暑お見舞い

奈良県生駒市在住 福永吉延

九月の中旬になりましたが、蒸し暑い日が続いています。

自分が暮らす奈良県生駒市は、雨の日も多くなっており、マスクをしながらの生活は、本当にしんどいです。

市内は、9月10日現在で68名の感染者数(奈良県内は540名)ですが、近畿大学奈良病院のクラスターが収まった後は、比較的落ち着いています。ただ、大阪への勤務者が多く、油断はできないところです。

自分自身の近況は、生駒市内で5月から**放課後等児童デイサービス**(何らかの発達障害を抱えた、小学生から高校生が集う支援施設)の立ち上げに参加し、主に学習支援に取り組んでいます。コロナ渦中で、子どもたちの生活や学びは本当に大変です。7時間授業も増え、行事は削られ、宿題に追われて困っている子どもたちはますます増えています。せめて宿題を済ませて帰宅させて、家ではゆっくり過ごしてもらうことを心から願っています。



生駒市の放課後等児童デイサービス学習室

また、一方で生駒市生活支援課が主催する学習支援教室に関わっています。こちらは、生活面、発達面で苦しい状況に置かれている子どもたちの支援です。もう5年目に入りましたが、毎回気を使うことが多く、帰宅すると疲労でぐったりしています。こんな時期ですからでしょうね。

皆々様、お大事に。

【9,10月スケジュール】

コロナ・パンデミック下、事務所や国会議員会館に「出かけ」て「集まる」ことを自粛し、会議はパソコン、スマートフォン(zoom)を使いオンラインでも行っています。どなたでもご参加いただけます。

<院内集会>

9月24(木曜日)11:00-13:00

<事務局連絡会議>

以下の各金曜日 10:30-

9月18、25

10月2、9、16、23、30

<『SVCF通信』10月号(127号)>

10月13日(火曜)発行

